

あいち海上の森センター情報誌



ムーアカデミー通信

Aichi Kaisho Forest Center News Letter vol.53 Autumn2022



これはゲンショウコというんだ。
秋の野山で普通に見られるよ。
漢字は、「現の証拠」と書くんた。
名前の由来は、煎じて飲むとその
効果がすぐ現れるところからきて
いるんだ。



今号のトピックス

- ・海上の森散歩 ～どんぐりと落ち葉で秋を満喫～…………… (2P)
- ・この人 (公財) Save Earth Foundation 清水由紀さん…………… (3P)
- ・センター職員随想リレー 語りべの一言…………… (3P)
- ・海上の森はいま(主な出来事)…………… (4P)

里と森の教室 稲刈りが行われました

9月25日(土)に稲刈りが行われました。予定した田んぼは4枚です。13家族28人の親子が参加しました。当日は天候に恵まれたものの、先日までの長雨で田んぼがぬかるみ、稲刈りの条件としては良くありませんでした。このため、刈り取る人も束ねる人も泥に足を取られ悪戦苦闘を強いられました。中には足を抜こうとしてバランスを崩し、尻もちをついて泥だらけになってしまった方もいました。なんとか田んぼ2枚は刈り終えたのですが、残念ながら2枚は刈り残しができてしまいました。残りは翌週の10月2日(日)に持ち越されました。この日は13家族27人の親子で行いました。当日まで比較的良い日が続いたおかげで、田んぼは十分

に乾燥し稲刈りは順調に進み、稲架(はざ)掛けまで無事終わることができました。皆、ほっとするとともに達成の喜びで一杯でした。



海上の森散歩 ～どんぐりと落ち葉で秋を満喫～

海上の森は実りの秋を迎えました。涼しくなり、散策が気持ち良い季節です。森を歩く時は足元にも目を凝らしてください。様々な形をしたどんぐりが発見できます。

どんぐりとは、ブナ科の木の実で固い皮と殻斗かくと(帽子)をもつ果実を指す俗称です。日本には約20種類あります。

海上の森で多く見かけるどんぐりはコナラ、アベマキ、アラカシですが、約10種類のどんぐりが見られます。

歩きながら、落ちているどんぐりと落ち葉を観察し、その種類を調べてみるのも海上の森散策の楽しみの一つでしょう。



殻斗 (かくと)

どんぐりをつつんで乾燥や虫から守ると考えられています。

殻斗にはいろんな形があります。木の種類によって違うので、殻斗がついたままであれば何の木のどんぐりかが分かります。

コナラ



細長く、長さ1.5～2センチ。かすかに縦に線が入っています。殻斗はウロコ状の模様が特徴です。展示室から見える中庭の大きな木はコナラです。

アベマキ



丸々としたどんぐりで、長さは1.5～2.5センチ。殻斗が特徴で、長くなって反り返り、びっしりと果実を覆っています。まん丸の形がクヌギに似ています。

アラカシ



大ざっぱな枝振りなので粗榥(アラカシ)と呼ばれます。長さは1.5～2センチ。殻斗は、6～7層のリング状です。

どんぐりと森の動物たち

どんぐりは大きな森の恵みです。リス、ネズミ、タヌキ、イノシシ、シカ、ムササビ、カケスなど、いろいろな動物がどんぐりを食べています。

なかには冬のあいだの食料にするために、巣穴にたくわえたり、土に埋めたりする動物がありますが、食べ忘れたり残したどんぐりは、春になって芽を出し、どんぐりの子孫を残す手助けになっています。

ムササビ



木の上でどんぐりをとって食べるよ。地面に落ちたどんぐりは食べないよ。

のど袋にどんぐりを5、6個詰めて移動できるよ。どんぐりを吐き出して1個ずつ枯れ葉や草の下に埋めて隠すよ。

カケス



イノシシ



タヌキ



落ち葉の下に分散して埋め隠すよ。

アカネズミ



この人「ずっと関わられる森の活動をめざして」 清水 由紀 さん

私は、学生では林学を専攻していたため、授業で間伐体験や調査目的で、山へ足を運んでいました。それから、全く関係のない自衛官になり、数年勤務後退職し、ワタミに入社し全く違う仕事を始めましたが、まさか、再び山へ足を運ぶことになるとは予想もしませんでした。

現在は公益財団法人Save Earth Foundation (略称SEF)の森林保全、生物多様性保全や自然教育の活動のために、社内外のボランティアや、森のインストラクター、あいち海上の森センターの方々などたくさんの人と協力して保全活動しています。管理面積は2haほどです。

なお、SEFとはワタミグループが応援する社会貢献団体の一つで、「美しい地球を子どもたちに残すため、持続可能な循環型社会づくりに貢献する」という目的をもって活動して



森の健康診断 植生調査の様子（海上の森にて）

います。

去年の12月から海上の森での活動に参加していますが、仕事を忘れるほど楽しいです。また、未来の森を想像して、どんな管理をしていけばいいのか。答えが無いので、難しい課題ですが、正解がないからこそやりがいがあります。

そのためには、様々な人たちと一緒に、活動を絶やさず続けていけるように工夫していかないといけないと感じています。参加して下さる方々には、一回のボランティアで満足しないで、次回も行きたい。未来の子どもたちへ貴重な自然を残せるように続けたい。自分自身も山の管理を行ってみたいなどの意識になってもらえるような活動を考えていきたいです。

プロフィール

千葉県出身。札幌の陸上自衛隊に入隊後、数年勤務後2020年ワタミ株式会社へ入社。
現在は公益財団法人SaveEarthFoundationにて、森林保全活動に取り組みはじめた。好きな樹木はクスノキ・ブナ。



センター職員随想リレー 語りべの一言

前回の方からの登山つながりで。

始めたのは遅く40歳ごろからでしたが、私も登山を趣味にしていた時期がありました。ただ最近では登らなくなってしまい、4年前の立山の雄山が最後の山になっています。

職場の友人に誘われて始めた登山ですが、その友人の影響（私自身も同じような性格でしたが）で、テント泊ではなく山小屋泊まりで携帯する荷物は必要最小限、行動を早くしてコースタイムの70%ほどで登頂して下山する、そんな登山だったので、高山植物を見つけてもゆっくり観察することも余りありませんでしたが、北アルプスの白馬岳、中央アルプス千畳敷、南アルプスの荒川岳のお花畑などは

覚えています。

そして、チングルマやコマクサのような定番ではなく、生息地が限られながらも私でもその名を聞いたことがある、南アルプス北岳のみに自生するキタダケソウを見つけたときは、なんだか得したような気分になりました。ちなみに、北岳と立山の劔岳はどちらも2回上ったことのある、私のお気に入りです。

海上の森には高山植物はありませんが、不勉強な私がお名前も知らない様々な花が咲いていて昼休みに散策していても目を楽しませてくれます。少しずつ覚えていこうかと思っています。（H.I）

海上の森はいま（主な出来事）

その1 むささびっ子の森開拓団

「むささびっ子の森開拓団」が、8月21日(日)に海上の森で間伐したヒノキで作ったベンチを設置しました。

「むささびっ子の森開拓団」は、小学4年生から高校生までの児童・生徒で構成され、自然との付き合い方を考えたり、森を守る活動を行っています。

設置場所は、広久手第2池(赤池)へ至る吉田川沿いで道標⑤のやや手前です。ここはセンターから物見山や海上の里へ行く途上(その逆も)に当たり、一息つくには最適です。

なお、この日は、四つ沢付近の海上川で、川底に溜まった落ち葉や枝を引き上げるなどの川さらいも行い、川の流れを滑らかにしました。



その2 森女養成コースがスタート

9月17日(土)に今年も9名の女性たちが海上の森へ集合しました。今年で7年目になる森女養成コースのスタートです。講師は森と人をつなぐ活動に取り組む丹羽健司さん、山づくり・人づくりの第一線で活躍中の中島彩さん、本コースの受講(3期)をきっかけに林業会社に入り森づくりに励む佐藤真希子さんの3人です。

本講座は6回セットで11月6日(日)まで続きます。森の健康診断から始まり、伐倒・造材から搬出、製材までの一連の流れを体験します。また、森林や林業を取り巻く現状や課題についても仲間たちと意見を交わし理解を深めます。

本コースでは、卒業生の有志の方が講座のお手伝いに自発的に参加し、受講生のサポートを行っています。有志の方の中には林業大学校に進学、森林組合に就職、森林整備ボランティア活動に取り組む等、森林や林業に係る様々な分野で活躍されている方がいらっしゃいます。これらの卒業生から林業現場の生の声を聞くことで、実習にも力がこもり、講座での学びを一層深める効果をもたらしています。



令和4年度海上の森キッズアカデミー参加者募集！！

日時：令和4年12月4日(日)午前10時から午後3時まで

場所：あいち海上の森センター

プログラム：森のがっこう

森のようちえん

定員：森のがっこう 小学生とその家族10家族

森のようちえん 年少以上の園児とその家族15家族

申込期限：令和4年11月20日(日)まで(必着)

申込先：よりあい工房ばんどりWebサイト

<https://sites.google.com/view/teambandori>



編集後記

めっきり涼しくなり、森の散策が心地よく感じられるようになりました。秋は実りの季節です。足元に目を凝らせばいろんなどんぐりが見つかります。また、里では色付いた赤トンボが舞い、野菊が可憐な花を咲かせています。是非、海上の森の秋を満喫してください。

編集・発行 あいち海上の森センター（ムーアカデミー）

発行日 2022年10月30日

〒489-0857 瀬戸市吉野町304-1

TEL: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841

E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp

URL: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kaisho/>

あいち海上の森センターホームページでカラー版を見ることができます。 ホームページ

< QRコード >

